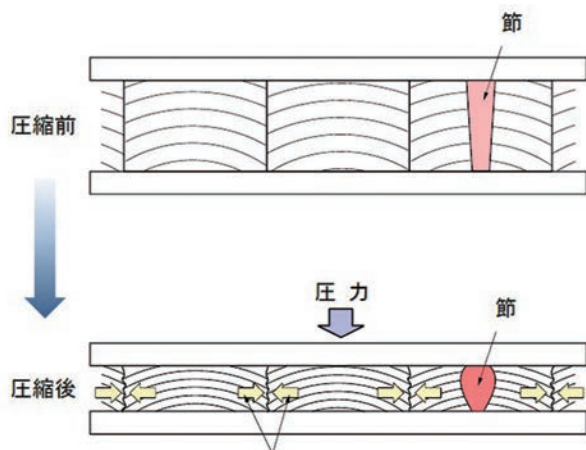


道産針葉樹を原料とした圧縮木材と製造方法

～柔らかく傷つきやすい針葉樹材をフローリングにも使える材料に～

アピールポイント

表面に傷のつきやすい道産トドマツなどの針葉樹材を広葉樹同等以上の堅さをもつ圧縮木材に仕上げる技術です。



- ・形状の異なる板材を同時に圧縮できます。
- ・節が平坦に、節周りもきれいに仕上がります。



松原産業株式会社「圧密化フローリング」
道産材を利用したナチュラルで暖かみのある空間作りに一役買っています。

発明の特長

北海道産の針葉樹材(軟質材)をホットプレスで厚さ方向に圧縮し、密度を上げて、広葉樹同等以上の硬さをもつ圧縮木材に仕上げる技術です。

圧縮時に板材を並べることで、圧縮によって横幅方向に広がろうとする動きを、お互いに反発させて寸法拘束します。これにより、節周りを締めつける力が働き、平坦に仕上がるとともに節周りでの割れ、裂けを防止することができます。

材 種	密度 (気乾)	ブリネル硬さ (N/mm ²)
トドマツ	0.40	8
カラマツ	0.50	14
スギ	0.38	8
ヒノキ	0.44	11
マカバ	0.67	24
ミズナラ	0.68	16
トドマツ圧縮材	0.84	20

トドマツ圧縮材はミズナラとマカバの中間程度の硬さがあります。

活用に向けて

- ・道産針葉樹を原料としたフローリングや家具什器類への活用が見込まれます。
- ・道産針葉樹合板の高付加価値化と需要拡大に貢献します。

基本情報

発明の名称	熱圧処理木材ならびにその製造方法		
特許権者	道総研		
特許番号	特許第5629863号		
出願日	平成22年9月9日	登録日	平成26年10月17日
実施許諾実績	■有り □無し	発明場	森林研究本部 林産試験場

キーワード:道産針葉樹、フローリング